

地理的表示（GI）保護制度に基づく新たな登録産品

登録番号 第112号 氷見稲積梅 ヒミナヅミウメ

生産者団体：①特産氷見稲積梅生産組合
②稲積梅の里振興会

生産地：富山県氷見市

特性

短楕円の球状で果頂部は少し尖り、大きさは中玉で18～25gが全体の約半分を占め、果皮色は淡緑色で毛茸もうじが多い。種子が小さく、果肉が厚いため、梅干しに加工する際にも裂皮しにくく、着色良く仕上がりが、ほどよい酸味となると評価されている。

地域との結び付き

「稲積」は、昭和24年に氷見市稲積地区で発見され選抜育種された、雪深い生産地の気象条件に合う希少品種である。栽培技術向上に努め、耕作放棄地や梅ロード、梅の里公園に植栽し、剪定・防除・収穫等共同作業で管理し、栽培面積を増加した。



登録番号 第113号 阿久津曲がりねぎ アクツマ

生産者団体：阿久津曲がりねぎ保存会

生産地：福島県郡山市

特性

軟白部が甘く、軟らかく、旨味が強い。市販品のねぎと比較して、旨味系アミノ酸(グルタミン酸、アスパラギン酸)が約1.8倍、糖度も約1.7倍多く含まれている。他の郡山産ねぎに比べて3割程度高値で取引されており、「全国ネギサミット」でも柔らかくて甘い」と好評を得ている。平成20年「郡山ブランド認証産品」の認証を受けた。

地域との結び付き

昭和初期に阿久津地区で栽培されていたものが郡山市全体へと拡大し、「郡山市の農林業（H2）」で「阿久津の曲がりねぎ」として紹介されている。平成17年に「阿久津曲がりねぎ保存会」が設立され、現在まで原種の生産を継続している。



登録番号 第114号 広田湾産イシカゲ貝 ヒロタワンサン ガイ

生産者団体：広田湾漁業協同組合

生産地：岩手県陸前高田市広田湾

特性

殻表は濃い赤茶色で、形はふっくらとしており、クリーム色の足の部分を食す。遊離アミノ酸の割合が高く、弾力があり、甘みと旨味が特徴。鮮度が良く、特有の甘みがあり、希少価値が高く、都内の高級料亭や寿司店で欠かせない商品となっている。

地域との結び付き

平成5年にリアス式海岸の地形を活かし、天然の稚貝の採苗、砂を入れたタライを海中に吊るして行う養殖技術が確立し、平成8年に全国で初めて、本格的な養殖生産がスタートした。漁業者を中心に関係機関が連携し、採苗から出荷まで約2年半かけて養殖し、厳しく選別したうえで出荷している。

